

パソコン通訳者認定基準

現場でパソコン要約筆記通訳が担える通訳者基準

ランク	理論	筆記試験	実技試験	通訳現場経験	目標	利用者認定 (ナ協、ろう協)	日本語能力
ランク1	基礎課程 テキスト読破レベル	なし	タッチタイピング 70文字/1分	10回程度	現場でサポートができる	交流あり (1名以上)	中学卒業程度の 日本語能力
ランク2	基礎課程 講習会修了レベル	有り	タッチタイピング 70文字/1分	30回程度	訂正担当ができる	ボランティア通訳 (3回以上)	漢字試験 * 漢検5級レベル
ランク3	応用課程 テキスト読破レベル	なし	タッチタイピング 100文字/1分	50回程度	チームで通訳が担える	認定(試験含む)	漢字試験 * 漢検4級レベル
ランク4	応用課程 講習会修了レベル	有り	タッチタイピング 100文字/1分	2年以上	チームで通訳が担える (前ロール担当もできる)	認定(試験含む)	漢字試験 * 漢検3級レベル
ランク5	指導者 指導者研修修了レベル	なし	タッチタイピング 100文字以上/1分		チームリーダーとして担える	面接	要約試験 * 文検3級レベル

コーディネイター認定基準

通訳現場の責任者として、その通訳全体をコーディネートできる者

- * 以下の3点の基準のうち、2点以上を満たした希望者に、サマライズ理事面接を行って認定する。

1. 通訳者グループ運営リーダー経験	1年以上有り
2. 通訳現場経験	2年以上
3. 聴覚障害者団体または聴覚障害者個人からの推薦	

補助者認定基準

通訳現場にて、機材設定の補助や原稿データなどの収集など補助業務あたる担当

- * 以下のポイントを全て満たした場合、理事の面接を行って認定する。

・基礎課程テキストの読破
・通訳現場参加・見学経験10回以上
・IPTalkなど、パソコンの基礎的操作と、機材の基礎的な設定接続ができる
・日頃から、利用者との交流がある